



出会いは一生の宝物！

園長 柿原 直昭

今年は梅雨入りが遅く、集中型梅雨と言われています。GWの頃から夏日が到来し、季節の移り変わり目を感じづらいこの頃となっています。その中でも紫陽花は色付き、はや7月となりました。

6月6日(木)には六瑞小で音楽の授業を体験しました。たくさんの楽器の音色を聴いたり、たくさんの楽器に触れたりしました。活動している子どもたちの目は輝き、ずっと笑顔でした。6月13日(木)には町屋幼稚園と交流しました。昨年度、2度の直接交流と1度オンラインで会っているので、すぐに打ち解けることができました。すぐに手をつなぎ、仲良く遊ぶ姿がすてきでした。6月17日(月)には隅田川駅で貨物列車に乗る体験をしました。運転席に座ったり、警音を鳴らしたり、子どもたちは初めての体験を心から楽しんでいました。その後、南千住第二幼稚園と交流しました。一緒に遊び、お昼を食べました。帰り際、「仲良くなれてよかった」「また遊ぼうね」という声が飛び交っていました。正門でずっと手を振っている姿が印象的でした。

こうして、たくさんの人たちとの出会いは子どもたちにとって一生の宝物となることでしょう。2学期以降も、人との関わりを大切にしたい園教育を進めてまいります。

保護者の皆様には、いつも本園の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。今年の夏は、たくさんの方にチャレンジできる特別な夏になることを願っています。

【町屋幼稚園との交流】⇒

併設の第七峽田小学校内「ななはけラボ」にも伺い、カプラやマグブロックを一緒に楽しみました。



【JR隅田川駅見学】⇒

貨物の仕事について教わり、実際に運転席にも乗せていただきました。



↑【第六瑞光小学校 音楽専科の先生との交流】音楽室に伺い、音楽専科の先生に小学校にある楽器について教えていただき、実際に音を鳴らして見せていただきました。その後はそら組も楽器を触らせてもらい、疑問に思ったことを教えていただきました。



【南千住第二幼稚園との交流】↓

帰りにはトンネルを作り「また遊ぼうね」とお見送りしてくれました。



【7月のねらい】

- ・友達と思いや考えを出し合って、遊びや生活を進めようとする。
- ・自分なりのめあてをもち、考えたり工夫したりして繰り返し遊ぶことを楽しむ。
- ・夏の自然現象や夏ならではの遊びに興味をもち、不思議に思ったりきれいさに気付いたりし、友達に伝えようとする。